

科目名	生涯学習論【子ども・心理】					開講 キャンパス	神園
担当者	香川 せつ子						
開講年次	1(心理) 1~3(子ども)	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	平成18年度改正の教育基本法は、第3条に「生涯学習の理念」を明記し、国民が生涯にわたって学習することができる社会の実現を標榜している。本講義では、生涯学習論が提起された社会的背景、その理念と目的、日本と諸外国の実情、ライフステージに応じた学びの意義等について学習する。最後にグローバル化、情報化が進行する現代社会における生涯学習の課題について考察する。						
授業の 到達目標	1) 生涯学習の理念を理解し、それが提起された社会的背景や意義について述べることができる。 2) 生涯学習理論の発展について理解し、説明することができる。 3) 日本の生涯学習の現状を把握し、生涯学習振興のための施策について説明できる。 4) 生涯学習のための施設の概要を把握し、その目的と機能について説明できる。 5) 人間の一生を生涯にわたる発達の観点から考察することができる。 6) 子育ての課題を把握し、地域におけるサポートネットワークの構築について述べるができる。 7) 児童期の学びにおける学校外活動の意義について理解し、現状と課題を説明することができる。 8) 青年期の課題を理解し、自立のための条件について考えることができる。 9) 職業がもつ意義を理解し、キャリア形成のための学習と支援について述べるができる。 10) 成人期、高齢期の学習の意義を理解し、生涯学習を可能とする社会的条件を説明できる。						
学習方法	講義、施設見学、ディスカッション、発表等による。						
テキスト及び参考書等	田中雅文ほか『テキスト生涯学習』学文社。プリント資料を適宜配布し補足資料とする。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎		○	60		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	○	○	20		
授業態度			◎		5		
受講者の発表	○	◎	◎	○	10		
授業への参加度			◎		5		
その他							
合計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	生涯学習の理念—なぜ今、生涯学習なのか？						
第2週	生涯学習論の系譜—古典的生涯学習論						
第3週	生涯学習論の国際的展開—ユネスコとOECD						
第4週	日本における生涯学習の現状と施策						
第5週	生涯発達と生涯学習						
第6週	生涯学習の内容と方法						
第7週	学校教育と生涯学習						
第8週	生涯学習の施設(1) 公民館と生涯学習センター						
第9週	生涯学習の施設(2) 図書館、博物館、青少年施設、女性施設等						
第10週	生涯学習施設の見学						
第11週	生涯学習施設見学レポート発表						
第12週	家庭教育と子育て支援						
第13週	生涯学習とキャリア形成						
第14週	高齢期の課題と生涯学習						
第15週	生涯学習社会実現にむけての課題(全体のまとめと考察)						
第16週	期末試験						
備考	授業外学習として、受講生は居住地域にある生涯学習の施設や団体に関する情報を収集し報告する。						